

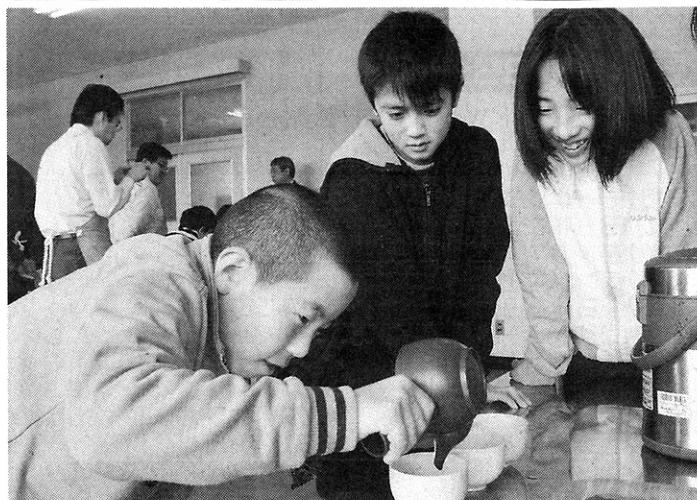
# 東海新報

平成25年(2013年)  
3月9日 土曜日

(7)

(昭和31年2月4日第3種郵便物認可561号)

陸前高田市立来崎小学校(佐藤圭子校長、児童161人)で8日、飲料メーカーの株式会社(佐藤圭子校長、本社東京都)による「おいしいお茶のいれ方セミナー」が開かれた。6年生児童30人は、急須の使い方や、お湯の温度による味の違いに理解を深めた。「おーいお茶」シリ



6年生の佐藤知穂さんは「いろいろないれ方があることが分かった。家でも急須を使つてお茶を味わいたい」と話していた。

同日はこのほか、同社執行役員の相馬藤嗣

急須によるお茶のいれ方を学んだ子どもたち

## いれ方の「違い」確認

### 米崎小学校でセミナー

陸前高田

いながら、復興支援に取り組んでいる。

指導役を務めたのは

同社の今野哲さん。

社会人になると急須

を使つてお茶をいれる

ことが増えます。美味

しいお茶で皆さんハッ

ピーに」とし、急須の

使い方などを伝えた。

ポイントの一つとし

て湯の温度を挙げ、ポ

ンティカルな注ぎ方

や抽出時間のほか、回

し注ぎのコツも学ん

だ。「最後の一滴まで

注ぎ切り、急須のお尻

を叩いてふたをすらし

て置いておく」など、

2煎目も美味しい味わ

う作法にも理解を深め

た。

6年生の佐藤知穂さんは「いろいろないれ方があることが分かった。家でも急須を使つてお茶を味わいたい」と話していた。

同日はこのほか、同

社執行役員の相馬藤嗣

急須によるお茶のいれ

方を学んだ子どもたち

トから注いだ熱湯で

北海道・東北地域営業

本部長らが市役所を訪

問。グループ社員で

集めた「奇跡の一本松

保存募金」に50万円を

寄付した。

本部長らが市役所を訪

問。グループ社員で

集めた「奇跡の一本松

保存募金」に50万円を

寄付した。